

日本共産党 街頭演説と懇談会 「戦争法廃止の国民連合政府」実現を 塩川衆院議員訴え



塩川衆院議員らから訴える宣伝カー（取手駅東口、10月12日）

国民世論と結び 野党の共同を

10月12日、取手駅東口前で行った塩川鉄也衆院議員を迎えての日本共産党街頭演説会には、小林きよ子参院選挙区予定候補、上野たかし県議、加

増みつ子・遠山ちえ子・鈴木きよし・関戸勇・小池えつ子市議が勢ぞろいしました。塩川衆院議員は、国会内野党の、「戦争法案廃止」への一致点で、結束する力は、戦争法反対の世論と運動の支えによってつくられたこと。政党・団体・個人が力をあわせ「戦争法廃止の国民連合政府」実現という、野党の選挙協力を含む提案は広く歓迎されており、その実現へ皆さんと力をあわせて頑張ります。との訴えに聴衆からの共感の力強い拍手が寄せられました。

増みつ子・遠山ちえ子・鈴木きよし・関戸勇・小池えつ子市議が勢ぞろいしました。塩川衆院議員は、国会内野党の、「戦争法案廃止」への一致点で、結束する力は、戦争法反対の世論と運動の支えによってつくられたこと。政党・団体・個人が力をあわせ「戦争法廃止の国民連合政府」実現という、野党の選挙協力を含む提案は広く歓迎されており、その実現へ皆さんと力をあわせて頑張ります。との訴えに聴衆からの共感の力強い拍手が寄せられました。

増みつ子・遠山ちえ子・鈴木きよし・関戸勇・小池えつ子市議が勢ぞろいしました。塩川衆院議員は、国会内野党の、「戦争法案廃止」への一致点で、結束する力は、戦争法反対の世論と運動の支えによってつくられたこと。政党・団体・個人が力をあわせ「戦争法廃止の国民連合政府」実現という、野党の選挙協力を含む提案は広く歓迎されており、その実現へ皆さんと力をあわせて頑張ります。との訴えに聴衆からの共感の力強い拍手が寄せられました。

(取手市ホームページより)



苦情殺到!

ウェルネスプラザ オープン

取手駅西口前に新設オープンしたウェルネスプラザに関し、苦情が相次いでいます。

「保健センターが遠くなって大変」「多目的ホールも駐車場も使用料が高すぎない?」「6号国道先の駐車場が危険」「コトバスがあっても、一方、市内各地で便がなくなり不便になったところも」等、苦情が上がっています。

取手市急ぎよ 保健センター利用者限り駐車場無料化

オープンに当たって取手市は、保健センター利用者限り無料の駐車券を発行しています。条例の駐車料金1時間250円を無料にする分、事業者の収入が減らないよう取手市が負担します。「保健センター利用の場合の駐車料金は無料になって助かる、でも議会で決めた条例は何のため?」等の声が寄せられています。

本来、公共施設の利用は無料が原則であり、せめて保健センター利用者の駐車料金の無料化は歓迎しますが、条例改正もしないままの実施は議会軽視も甚だしいものです。

駐車場無料化分も事業者へ取手市が補助

ウェルネスプラザの管理運営は、民間事業者(指定管理者)が代行し、年間約1億3000万円の指定管理料を取手市が事業者へ支払います。昨年12月議会で議決(条例)したプラザ内各施設と駐車場の使用料もすべて指定管理者の収入となり、駐車場無料化分も実質取手市からの補助金増額で、財源は保健センター予算が流用されます。



懇談会であいさつする加増市議団長

懇談会

「国民連合政府」

に期待の声

12日、市内で開かれた懇談会には、戦争法反対で運動をともにしている団体役員、大学教授や自治会長、音楽家等70名近くが参加し、「国民連合政府」の提案について、「待っていた、歓迎する」「野党共闘を実現しよう」「政府をつくる道筋は?」等、次々に質問や意見が上がりました。戦争法廃止、立憲主義を取り戻す連合政府への理解を深める懇談会となりました。

<お知らせ>

戦争法廃止・安倍内閣即刻退陣!

総がかり取手大行動

10月25日(日)午後3時~

取手駅東口前広場

・戦争させない・9条壊すな!総がかり取手行動実行委員会
・くらしと平和を守るネットワーク取手 / 共催

県道・中小河川の整備促進、安全対策を 茨城県に要請

日本共産党県議・市議団

10月9日、日本共産党議員団は、アンケートなどで寄せられた、県道の整備促進、歩道拡幅、危険個所に街路灯の増設、中小河川整備促進と浚渫等茨城県竜ヶ崎工事事務所に13項目の実現を要望しました。

要望項目と主な回答は以下の通りです。



県竜ヶ崎工事事務所に要望を伝える(左から)関戸市議、小池市議、上野県議、加増市議=10月9日

<要望事項>

- ① 県道取手谷中線行善田橋付近の歩道未整備箇所の整備、歩道上の電柱移設・拡幅。井野～谷中間の歩道に繁茂した草の除草。
- ② 県道取手東線の片町交差点県道に接するコンビニ駐車場との境界に歩道を設置。
- ③ 県道常総取手線のとりわけ市街地に接する歩道に繁茂した草の除草。
- ④ 294号新取手付近の歩道拡幅整備で、歩行者・車いす・自転車通行の安全確保を図る。
- ⑤ 294号白山8丁目交差点工事に伴う、当面の歩行者・自転車通行の安全確保を図る。
- ⑥ 294号線白山3丁目・4丁目間の凸凹歩道の改修。
- ⑦ 県道中内～大いり線インターロッキング歩道の亀裂・凸凹の改善。
- ⑧ 国道294号線・県道取手東線・谷中線の交差点・危険箇所に街路灯を増設。
- ⑨ 県道取手東線ミスターマックス東側入り口交差点(東6丁目)に街路灯設置。
- ⑩ 相野谷川・北浦川・西浦川の早期改修。同河川および小貝川の必要な浚渫。
- ⑪ 紫水高校前の道路を延長し、小貝川に橋(自転車・歩行者専用道路)の設置。
- ⑫ 高須地区内県道長沖藤代線バイパス建設計画の推進。
- ⑬ 新道みずきの線(上高井・下高井区間)の早期整備。

<回答>

- ① 電柱は撤去する。歩道整備用地の地権者と合意に至っていない。草刈は業者に発注済み。
- ② 歩道をどの様に設置するか検討する。
- ③ 業者に発注済み。
- ④ 都市計画決定されているが事業化は難しい。
- ⑤ 平成27年末には稲小学校への通学路と交差点も暫定的に整備する。
- ⑥ 建物に影響する可能性がありむずかしい。
- ⑦ 現地確認の上対応する。
- ⑧ 街路灯設置基準は、危険個所、交差点などになっている。具体的な設置場所の指摘があれば検討。
- ⑨ 現地確認の上検討する。
- ⑩ 相野谷川は、来年度からJR上流の整備にかかる。宗仁会～本郷橋間(1Km)の掘削を年度内に行う。北浦川は年度内測量により浚渫を行う。西浦川は北浦川整備の後となりそれまで休止。

- ⑫ 平成25年から休止状態他の状況見て判断。
- ⑬ 東京鉄骨～大里納豆間の260mの整備を行う。



相野谷川上流、宗仁会病院そば

取手市

住民票にナンバー記載、69世帯100人分

不安が現実に

情報漏えいの危険、不正利用の恐れがあるなど国民の不安と強い反対の声が広がる中、マイナンバー制度が施行されました。国民の不安が現実となった取手市のトラブル発生は、制度施行の今月5日から9日午後2時までの間に、69世帯100人に交付した住民票にマイナンバーが記載されたというものです。

トラブル発生最大の責任は？

トラブルの原因について取手市は、本来、住民票の自動交付機による発行は、個人番号を記載しない仕様。電算業務委託業者茨城計算センターのシステム設定ミスで、そのチェック機能が働かなかつたと説

マイナンバー
でトラブル

明。合わせて、市がシステム改修後の確認をしなかったとし、今後チェック機能を強化、再発防止に努めるとしています。

マイナンバー 一部は民間に流失

すでにマイナンバーが記載された住民票の一部は、民間事業者に、さらにそこから広く流出した可能性もあります。

市議会で党議員の質問に対しても「慎重に取り扱う、安心だ」との答弁を繰り返し、危機管理を民間任せにして来た取手市の責任は免れません。

日本共産党は国会でも市議会でもマイナンバー制度導入に反対、現段階での運用中止と制度の見直しを求めています。